

国民健康保険について

国・県全体の医療費は年々増加の傾向にあり、国保会計は依然として予断を許さない状況にあり、医療費高騰に対応できる財政基盤の確保が肝要であると考えております。このような中で、保険税額については、据え置きとする予定であります。

近年、生活習慣病に起因する疾病が増加する中、人間ドックや脳ドックの検診に対する助成を継続すると共に村の保健事業との連携により、医療費支出の適正化と抑制を図り、加入者の負担軽減に努めてまいります。

老人保健について

高齢化社会到来の中で、本村の高齢化率は22%に達し、国・県の平均を上回っております。平成12年度当初予算においては、介護保険制度への移行を前提に医療費見込みは10%減と予想されたところでありましたが、医療費の状況を見ると結果的には、ほぼ例年並の医療費で推移しております。本年1月に老人保健法の改正により定率1割の自己負担が制度化されましたが、年々増加する受給者数や医療技術の高度化などと相まって、ますます老人医療費の増高が予想されます。今後の医療費の動向を充分見極めながら国保会計同様に健康教育・健康相談事業を積極的に展開すると共に、生きがい対策を進めてまいりたいと考えております。

農業振興について

昨年度から向こう5年間西蒲原地区の基幹水利施設について国営造成施設管理体制整備促進事業を推進し、今年度においては更に信濃川水系水利施設を適正に維持管理するため、地域の整備構想計画の調査を立ち上げて、農家負担の軽減や土地改良区等の管理体制強化を国、県と市町村が連携して推進してまいります。

米の需給回復と稲作経営の安定を図るために、国の米緊急対策や県の助成策が取りまとめられ、当村では輸入に頼っている大豆を村の奨励作物として本作化を進め、昨年の村独自の助成策を要件を満たせば米並の所得補償をする見直しを行い、関係機関団体と連携して取り組み、目標達成に誠意をもって推進してまいりますので、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

経営感覚の優れた中核的担い手農家を育成し、農地利用集積や生産コストの低減を図りながら消費者ニーズに対応する生産体制を促進し経営の安定化に努めてまいります。

また、普及指導活動として、土に生きる女性の集いや生活アドバイザー活動などを支援し、男女共に家庭と仕事が両立する農村地域の男女共同参画社会の推進を図ります。

商工振興について

厳しい経済状況を克服するため、商工会と連携して商工業者の経営安定と発展を基本に据えながら、経営の近代化、合理化の推進、融資制度の充実を図りながら商工業の振興に努めてまいります。

更に雇用の場を確保するため、企業誘致にも積極的に努力してバランスの取れた産業の発展に努めてまいります。

土木事業について

大別当地区での消雪用井戸の必要量が確保できたことから、計画どおり消雪パイプの布設を進めてまいります。曲地区も初年目は予算割当額との関係で少額の傾向にありますが、消雪パイプの整備と集落道の実施設計に取り組みたいと考えております。歩道のバリアフリー化につきましては、将来展望に立ち、関係団体との土地利用調整を図りながら早期解消に向け努力してまいります。

中ノ口川堤防上の県営ふるさとづくり河川事業は、14年度完成に向け順調に工事が進んでおります。このため、旧月潟駅周辺の整備が急がれるところですが、円滑に事業が推進できるよう用地取得や整備エリアなど関係機関との調整に努めてまいりたいと考えております。

下水道について

本村の供用開始は18年度の予定であります。例年どおりの面整備を進めてまいります。同時に使用料の算定や利子補給制度などにつきまして郡内町村と統一歩調を取りながら供用開始に向けて準備に取り組みたいと考えております。

簡易水道について

維持管理コストの縮減や合体施行、他事業との調整を図り、事業の効率化を進め、健全なる事業運営に努めてまいります。

消防防災について

中ノ口沿線消防応援協定や新潟地域広域防災協定の更なる充実を図り、広域的な危機管理に備えることとしております。

教育振興について

「村づくりは人づくりから」の理念のもと教育立村を目指して教育環境の整備を進めます。本年は、IT普及国民運動として整備しましたパソコン講習会を実施いたします。「インターネットの利用」「電子メールの送信」を基本に250人の村民の皆様から受講いただく予定です。村独自の振興策としては、引き続き奨学金の貸与による大学進学率の向上、集団生活に馴染めない児童生徒から相談を受ける心の教室相談員の配置、新学習指導要領を目の前にして総合学習への対応を試みるチャレンジ21事業の実施、感受性の強い時に国際的な視野と感性を身につけて将来地球規模で活躍できる人づくりを期待して中学生のオーストラリアホームステイ海外交流派遣事業を継続いたします。

以上のとおり、平成13年度の概略を述べさせていただきました。最小の経費で最大の効果が上げられるよう今年度も努力してまいりますので、みなさまからご協力をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。